

第2次丹波篠山市環境基本計画（案）に対するパブリックコメントの趣旨と回答

受付期間：令和2年1月17日（金）から令和2年2月17日（月）

人数：1人

件数：3件

No	意見要旨	回答
1	丹波篠山市は「源流のまち」であるにも関わらず表紙に記載が小さい。もっと大きく前面に出すべきである。	「『源流のまち丹波篠山』をこんなまちにします。」として、より前面に出るようにします。
2	表紙の写真について、「源流のまち」なので、川の近くの里山や川（親水公園）で遊ぶ親子や子どもたちの風景の写真としてはどうか。	たくさんの子どもたちが自然とふれあっているというイメージから、表紙は案のとおり野山の写真としますが、裏表紙に「源流のまち丹波篠山」の記載とともに、子どもが川で遊んでいる景観写真コンクール受賞作品を大きく掲載します。
3	山や川で遊ぶヒトや子どもは丹波篠山の絶滅危惧Aランクであると思っている。計画のどこかでこの点についてふれられないか。	目指すまちの姿の一つとして「たくさんの生き物がいる自然の中で、子どもがいっぱい遊んでいるまち」を掲げ、たくさんの人が山や川で遊ぶまちを目指して学校園での環境教育を推進するとともに、子どもが楽しく遊べる場づくりを進めます。